

# TOTO

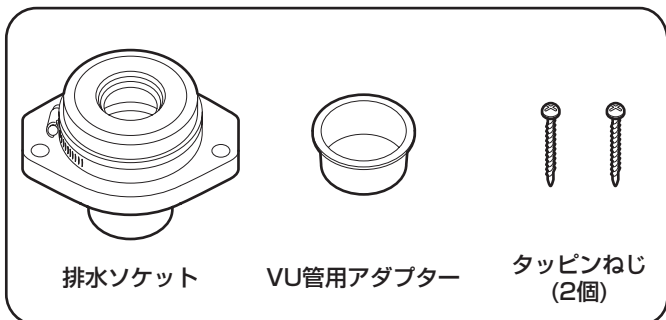
## 施工説明書

### 排水ソケット (塩ビ管用)

T64SP型  
T64S1P型

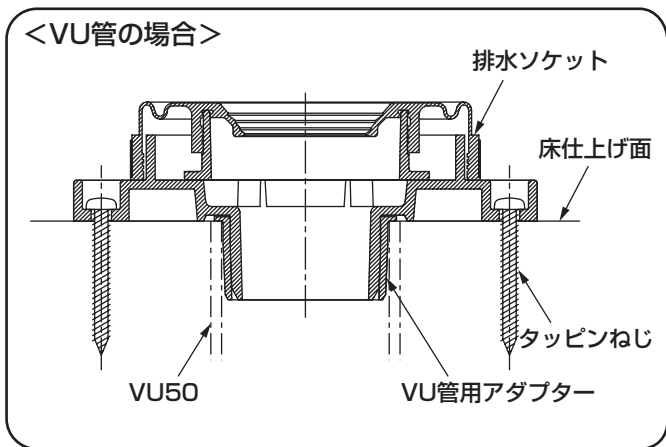
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
※鉛管用の場合は、裏面をご覧ください。

## 1 部品の確認



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

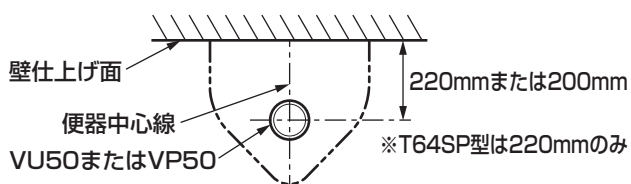
## 2 完成図



## 3-1 施工手順

### 1 排水管の仕上げ

床仕上げ後、排水管の位置が正しいかどうか確かめる。



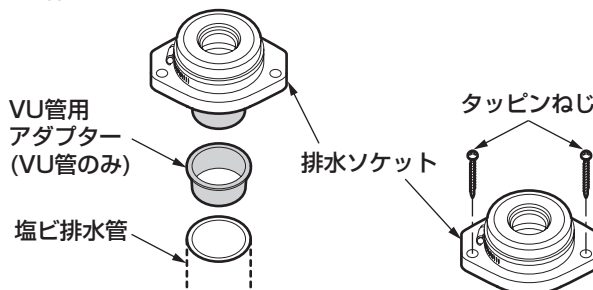
#### 注意

- 塩ビ配管の床仕上げ寸法は床仕上げ面と同一にしてください。
- 排水管の位置は小便器により異なります。

## 3-2

### 2 排水ソケットの固定

- ①塩ビ排水管がVU75管の場合は、同梱のVU管用アダプターを使用し、先に床フランジ本体側に取り付ける。その際、VU管用アダプター内面および外周と壁フランジ本体差し込み部外周に塩ビ用接着剤を塗り取り付ける。
- ②排水ソケットを塩ビ排水管に差し込み、タッピンねじで十分締め込む。



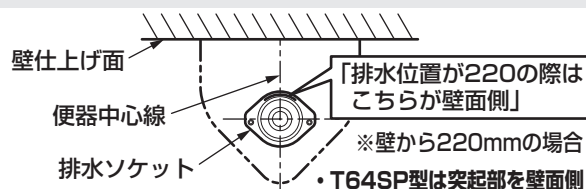
#### 注意

- 必ず排水ソケットの中心と便器の中心線を合わせてください。
- 排水ソケットはしっかり締め込んでください。水漏れの原因となります。
- VU管用アダプターを先に塩ビ排水管に取り付けますと、VU管用アダプターが所定の位置まで差し込めなかったり、排水管の中まで入り過ぎたりして、床と便器の間にすき間が発生したり、水漏れの原因になります。

#### 注意

### 重要

- 『T64S1P型の場合』排水管の位置が壁仕上げ面より220mmの場合は、排水ソケットに表記されている**排水位置が220の際はこちらが壁面側**を必ず壁面に向けてください。
  - 『T64SP型の場合』「かべ」と表記している方を必ず壁面に向けてください。
- 一度接着すると手直しができませんのでご注意ください。**

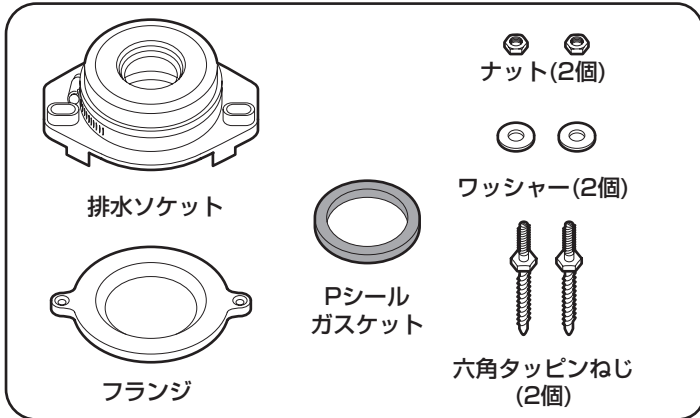


### 排水ソケット (鉛管用)

T64SW型  
T64S1W型

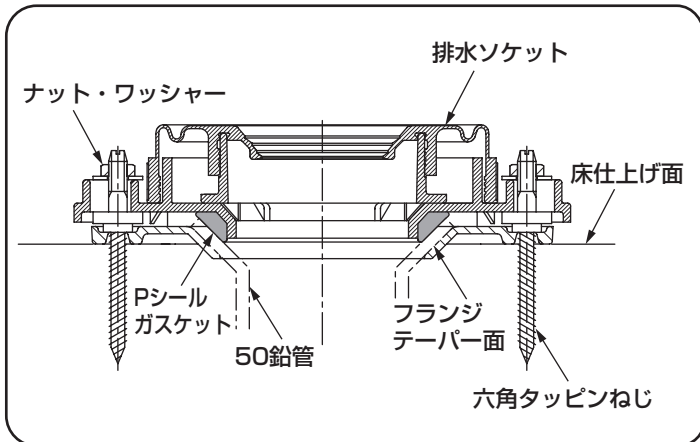
商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
※塩ビ管用の場合は、裏面をご覧ください。

## 1 部品の確認



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 2 完成図

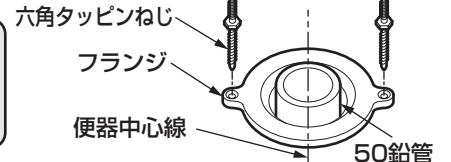


## 3-2

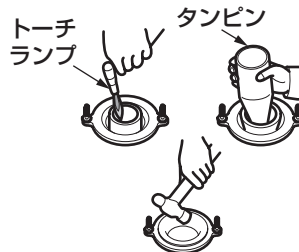
### 2 フランジの固定

①フランジを六角タッピンねじで固定する。

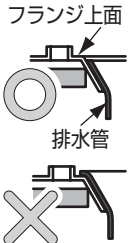
**注意**  
必ずフランジの中心と便器の中心線を合わせてください。



- ②鉛管をトーチランプで加熱し、タンピンなどを使って先端を膨らませる。
- ③フランジ面に沿わせ、フランジ上部まで十分広げ、鉛管の上端をはんだ付けする。



**注意**  
排水管がフランジの上面より飛び出さないようにする  
ソケットが突き上げられて、固定が不十分になります。

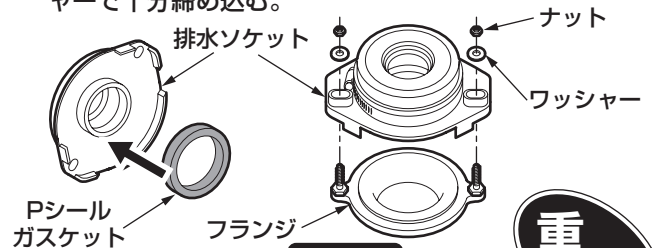


### 3 排水ソケットの固定

①排水ソケットの下面側(塩ビ側)のごみや水分を取り除き、Pシールガスケットをはめる。

**壁排水にPシールガスケットを使用する際は、接合部を上側にしてください。**

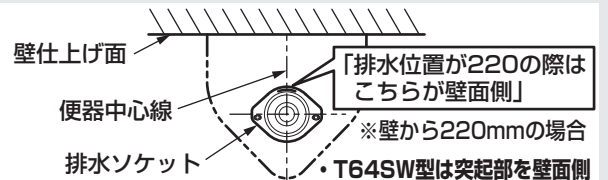
②排水ソケットをフランジに取り付け、ナットとワッシャーで十分締め込む。



**重要**

**注意**

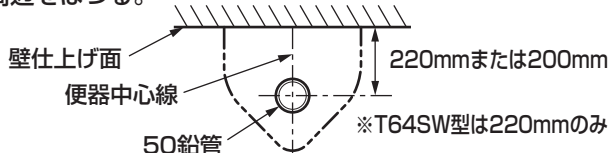
- 「T64S1W型の場合」排水管の位置が壁仕上げ面より220mmの場合は、排水ソケットに表記されている「排水位置が220の際ははこちらが壁面側」を必ず壁面に向けてください。
- 「T64SW型の場合」「かべ」と表記している方を必ず壁面に向けてください。
- 必ず排水ソケットの中心と便器の中心線を合わせてください。
- 排水ソケットはしっかり締め込んでください。水漏れの原因となります。



## 3-1 施工手順

### 1 排水管の仕上げ

- ①床仕上げ後、排水管の位置が正しいかどうか確かめる。
- ②フランジのテーパ部が床の中に入るように、排水管周辺をはつる。



**注意**

排水管の位置は小便器により異なります。

- ③鉛管を床仕上げ面から約15mm残して切断する。